

I 第28週の発生動向 (2011/7/11~2011/7/17)

1. 水痘については、むつ保健所管内において、第24週から**警報**が継続しています。
2. 手足口病については、弘前保健所管内において、第26週から**警報**が継続しています。
3. 流行性耳下腺炎については、むつ保健所管内において新たに**警報**が発令され、上十三保健所管内においては第27週から**警報**が継続しています。

II 第28週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		(再掲からの増減)	数	人/定点	数
(85) インフルエンザ					1	0.1							1	0.0	-2				
(74) RSウイルス感染症	4	0.4	2	0.2									6	0.1	6	1	1.0	3	0.4
(75) 咽頭結膜熱	5	0.6	5	0.6	1	0.1			1	0.2			12	0.3	-1			5	0.6
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	0.4	7	0.8	1	0.1	1	0.2	5	0.8	3	1.0	21	0.5	5	1	1.0	3	0.4
(77) 感染性胃腸炎	26	2.9	4	0.4	11	1.2	11	2.2	22	3.7	12	4.0	86	2.1	5	5	5.0	21	2.6
(78) 水痘	11	1.2	6	0.7	3	0.3	1	0.2	7	1.2	28	9.3	56	1.4	3			11	1.4
(79) 手足口病	17	1.9	95	10.6	6	0.7	6	1.2	1	0.2			125	3.0	2			17	2.1
(80) 伝染性紅斑	5	0.6	2	0.2	1	0.1			5	0.8			13	0.3	-15			5	0.6
(81) 突発性発疹	3	0.3	2	0.2	4	0.4	1	0.2	3	0.5	3	1.0	16	0.4	-10			3	0.4
(82) 百日咳															0				
(83) ヘルパンギーナ			3	0.3	4	0.4	1	0.2					8	0.2	-2				
(84) 流行性耳下腺炎	4	0.4	2	0.2	10	1.1			27	4.5	22	7.3	65	1.6	-15			4	0.5
(86) 急性出血性結膜炎															0				
(87) 流行性角結膜炎	1	0.5			1	0.5	4	4.0					6	0.5	2			1	0.5
(92) クラミジア肺炎															0				
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	12	12.0					6	6.0	19	3.2	4				
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出状況は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：青森市1人、八戸1人、上十三2人 (23年計:203人)
- (15) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患)：弘前2人、上十三1人(23年計:12人)
- (55) レジオネラ症(四類全数把握疾患)：青森市1人(23年計:2人)
- (69) 破傷風(五類全数把握疾患)：青森市1人(23年計:1人)

IV 病原体検出情報

※()内は、検査材料及び検体採取日、患者数です。

- ・感染症発生動向調査による病原体検出については、以下のとおりです。
- 呼吸器疾患患者9名(鼻咽頭ぬぐい液、5/11~6/13)・・・**ライノウイルス**：八戸(2)、むつ(1)、**ヒトボカウイルス**：弘前(4)、**パラインフルエンザウイルス3型**：八戸(2)
- 熱性痙攣重積患者1名(鼻汁、5/24)・・・**RSウイルス**：八戸
- 感染性胃腸炎患者1名(糞便、4/28)・・・**ロタウイルスG1型**：弘前
- 扁桃炎患者1名(鼻咽頭ぬぐい液、5/17)・・・**アデノウイルス3型**：弘前
- 咽頭結膜熱患者1名(鼻咽頭ぬぐい液、5/18)・・・**アデノウイルス3型**：弘前

感染症の窓

カンピロバクター感染症 (五類定点把握疾患)

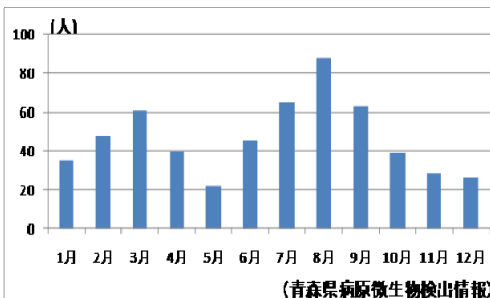


図 2010年の県内10医療機関の月別検出数

今年、県内ではカンピロバクターが原因である食中毒が2件(患者数17人)発生しています。カンピロバクターは、感染性胃腸炎の原因微生物の一つであり、食中毒起因菌です。ウシ、ブタ、ニワトリ等の腸管内に常在し、またウシのレバー内部に存在することが確認されています。

潜伏期間2~5日で、症状は、下痢、腹痛、発熱、吐き気、嘔吐、頭痛等です。通常1日2~6回の下痢が1~3日間続きます。多くは自然治癒しますが、重症例や合併症として四肢脱力の特徴とするギランバレー症候群を発症することもあります。

感染予防は、生肉を中心部まで十分に加熱すること、生肉を調理する器具や手指から生で食べる野菜等への二次汚染を防ぐことなどです。また調理器具、食器等を清潔にし、乾燥させることも大切です。(IDWR 国立感染症研究所「感染症の話」参考)

県内10医療機関で実施している病原微生物検出情報では、2010年に検出されたカンピロバクター総数は540株で、月別では8月が最多でした(図)。

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）（届出数は速報値です） 単位：人 2011年第7週～第27週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
7	H23.2.14 ~ H23.2.20					腸管出血性大腸菌感染症1人	
8	H23.2.21 ~ H23.2.27		腸管出血性大腸菌感染症1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
9	H23.2.28 ~ H23.3.6		腸管出血性大腸菌感染症3人				
10	H23.3.7 ~ H23.3.13		劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	梅毒1人			
11	H23.3.14 ~ H23.3.20						
12	H23.3.21 ~ H23.3.27						
13	H23.3.28 ~ H23.4.3						
14	H23.4.4 ~ H23.4.10						
15	H23.4.11 ~ H23.4.17			アメーバ赤痢1人		麻しん1人	
16	H23.4.18 ~ H23.4.24						
17	H23.4.25 ~ H23.5.1			レジオネラ症1人			
18	H23.5.2 ~ H23.5.8						
19	H23.5.9 ~ H23.5.15	つつが虫病1人					
20	H23.5.16 ~ H23.5.22				つつが虫病1人		
21	H23.5.23 ~ H23.5.29			つつが虫病1人			
22	H23.5.30 ~ H23.6.5	つつが虫病2人					
23	H23.6.6 ~ H23.6.12	つつが虫病1人	劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人 バンコマイシン耐性腸球菌感染症1人		つつが虫病1人	麻しん1人 つつが虫病1人	
24	H23.6.13 ~ H23.6.19	麻しん1人	梅毒1人	急性脳炎1人			
25	H23.6.20 ~ H23.6.26		腸管出血性大腸菌感染症1人			つつが虫病1人 梅毒1人	つつが虫病1人
26	H23.6.27 ~ H23.7.3	つつが虫病2人	つつが虫病2人			梅毒1人	
27	H23.7.4 ~ H23.7.10					後天性免疫不全症候群1人	

VI 結核（二類全数把握疾患） 単位：人 2011年第5週～第27週

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
5	H23.1.31 ~ H23.2.6	2	1	2			
6	H23.2.7 ~ H23.2.13					1	1
7	H23.2.14 ~ H23.2.20		1	1	1		
8	H23.2.21 ~ H23.2.27		2		5	1	1
9	H23.2.28 ~ H23.3.6		3	1		1	
10	H23.3.7 ~ H23.3.13	2	1	3			
11	H23.3.14 ~ H23.3.20	2		2	1	2	1
12	H23.3.21 ~ H23.3.27		1	1			
13	H23.3.28 ~ H23.4.3	1	2	2		1	
14	H23.4.4 ~ H23.4.10	2	2	6	1	2	
15	H23.4.11 ~ H23.4.17	1	2	4	1		
16	H23.4.18 ~ H23.4.24	4		4	3		
17	H23.4.25 ~ H23.5.1	1	1		1		
18	H23.5.2 ~ H23.5.8	1	1	1	2		
19	H23.5.9 ~ H23.5.15		2	2	3	1	
20	H23.5.16 ~ H23.5.22	2		1			
21	H23.5.23 ~ H23.5.29	1		5	3	3	
22	H23.5.30 ~ H23.6.5	2	2		1	1	
23	H23.6.6 ~ H23.6.12	1	2		2		
24	H23.6.13 ~ H23.6.19	1	5	5	2		
25	H23.6.20 ~ H23.6.26	1	1	7	1	6	3
26	H23.6.27 ~ H23.7.3	1	1	2		1	
27	H23.7.4 ~ H23.7.10		3	3		3	

VII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

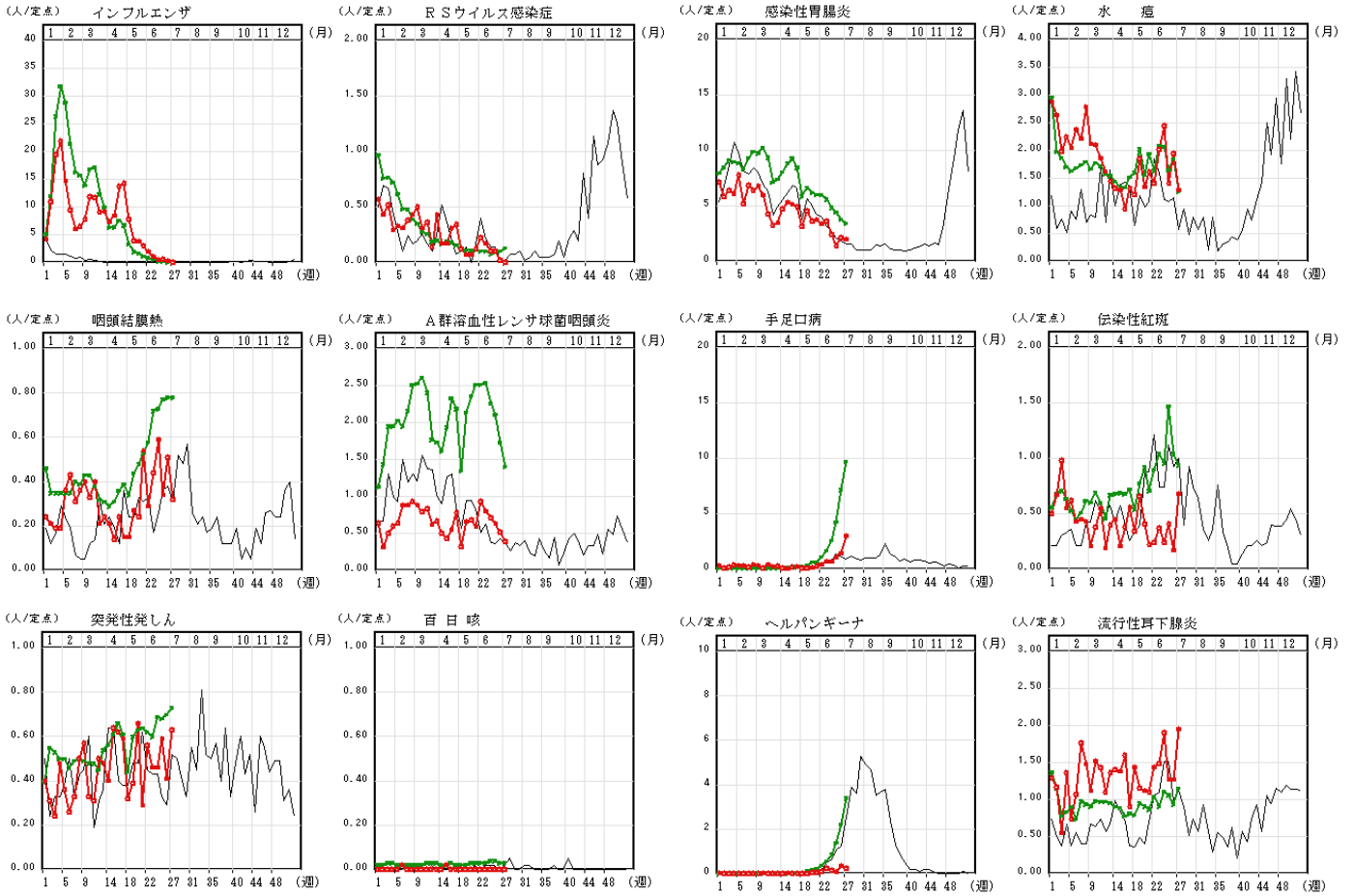
2011年7月19日18時集計速報値

	急性灰白髄炎	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジアイデス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎	ブルセラ症	ボツリヌス症	マラリア
全国	1	15164	2	103	1331	11	13	37	135	11	10	2	5	152	46	37	1	1	3	32
青森県	0	202	0	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	0	0	0	0	0

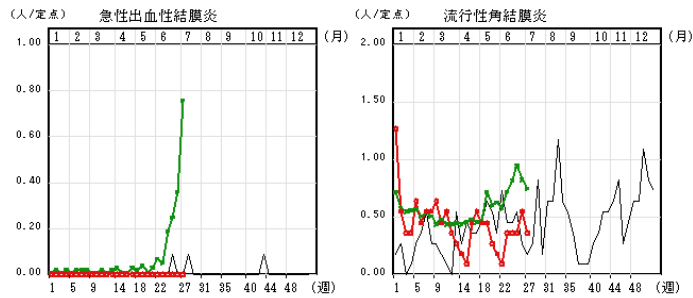
	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん
全国	3	338	5	403	138	174	6	60	126	734	35	7	1	384	58	29	248	360
青森県	0	2	0	1	0	2	0	0	2	1	0	0	0	5	0	1	0	3

グラフの説明 ○—○は 2011 年青森県、——は 2010 年青森県、○—○は 2011 年全国

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 2011 年第 27 週



IX 眼科定点把握疾患週別推移 2011 年第 27 週



X 基幹定点把握疾患週別推移 2011 年第 27 週

